

## 大阪府吹田市 D様

建物概要 2階建て 築40年木造家屋 屋根 三晃式瓦棒（亜鉛鉄板）

工事内容 下屋部屋根改修工事

工事の経緯 下屋の下の部屋に雨が漏れてきたとのことで、屋根材の状態、壁の状態を詳しく見たところ、屋根材の所々に穴が空いているのを発見しました。屋根材に何度か塗装はしたとのことでしたが、40年経過した亜鉛鉄板の耐久性としては限界を超えている状態です。

壁の塗装、ベランダの防水も必要な時期にきているのですが、予算のこともあるとの事で必要最低限の下屋の改修工事のみ施工しました。

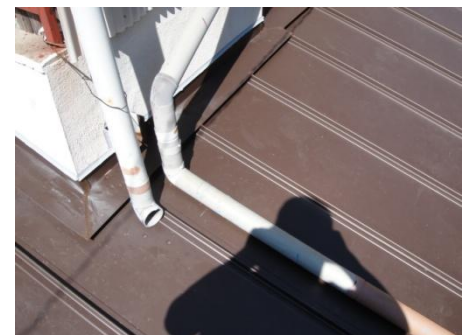
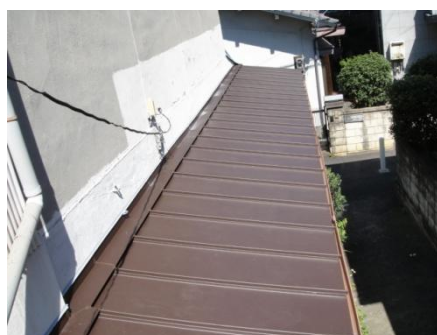
D様の要望として現状の屋根材（亜鉛鉄板 0.35mm）のみでは、下の部屋が暑いとのことで、少しでも遮熱効果がある方が良くとのことでした。

多少の効果を期待して、既存屋根材をそのまま残して寸三の角材で通気層をとり野地板12mmを張りOKタテヒラ（ガルバリウム鋼板 0.4mm）を葺きました。

### 工事前



### 工事後





**RT工業株式会社**

---